



5年ぶりに布団太鼓の登場！
(木津 八幡神社)

議会だより

Inagawa

No. 193

2024.11.1

発行：兵庫県猪名川町議会

新型コロナウイルス ワクチン接種事業 4135万2千円を追加補正

65歳以上の方などを対象に
新型コロナワクチンの
定期接種を実施しています。



厚生労働省リーフレットより

第423回 9月定例会

9月10日から24日まで15日間開会し、補正予算1件、決算認定7件のうち2件、人事案件1件、条例改正1件、指定管理者の指定2件を審議。いずれも全会一致で原案のとおり可決した。
一般質問は14人の議員が行った。

道の駅のトイレ更新にかかる 追加費用420万円

○道の駅のトイレの更新にあたり、撤去する現トイレにおいてアスベストの使用が調査により判明。アスベスト材の除去、処分に係る工事費として300万円、現トイレ撤去後の調査結果によっては地盤改良が必要な場合が想定されることから、その工事費120万円、合わせて420万円を予算化。

○清水地内での災害における崩落箇所のうち、民家の裏庭まで影響が及んでいる延長28メートルに応急仮復旧工事として大型土のうを設置するものとして補正額310万円の増額。

第422回 6月臨時会

6月25日に臨時会を開会し、補正予算1件を審議。全会一致で原案の通り可決した。

補正予算

6年度一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出予算の総額に730万円を追加し、それぞれ120億2942万2千円とする。

補正予算

6年度一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額に9129万7千円を追加し、それぞれ121億2071万9千円とする。

主な歳入・歳出

○10月より65歳以上を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種事業
4135万2千円
(財源：国庫補助)

○5月の大雨による災害復旧事業
・下北谷川(清水地内)
・町道柏原9号線(柏原地内)
2250万円
(財源：国庫補助)



下北谷川の状況

決算認定

5年度上水・下水道事業会計決算(P4参照)

上水・下水道事業以外の決算認定は常任委員会に審査

5年度一般会計・特別会計決算の認定(5件)について各常任委員会へ付託し、継続審査することとした。

人事案件

監査委員の選任に同意
古賀 三津男 氏

条例改正

国民健康保険条例の一部改正
健康保険証の廃止を定めるマイナンバー法の改正に伴って一部改正

町議会定例会の流れ



■本会議の日程(例)

○初日
議案審議
委員会付託
一般質問
○二日目以降
一般質問
○最終日
議案審議
委員長報告
討論・採決

■議案審議の流れ

町長や議員から提出された議案は、本会議(定例会・臨時会)に提出され、議題となります。
本会議では、提案者が提案理由等を説明し、これを受けて、議案に対する質疑を行い、提案者がこれに答えます。その後、討論、採決される議案と、さらに詳しく審査するた

■採決・議決

委員会での審査結果は審査結果報告書として、議長に提出され、最終日に再び本会議の議題となり、賛成・反対それぞれの立場から討論(意見表明)を行った後、採決が行われ、可決・否決・修正可決のいずれかに決定します。

決議案を議決

議員提案による決議案

議員定数調査特別委員会設置に関する決議
適正な議会議員定数を調査検討するため、特別委員会を設置。
(全会一致で可決)

議員定数調査特別委員会委員を選出

○委員長
○副委員長
議員定数調査特別委員会

◎加藤 郁子
○阪本 ひろ子
福井 和夫
福井 澄栄
丸山 純子
山田 京子

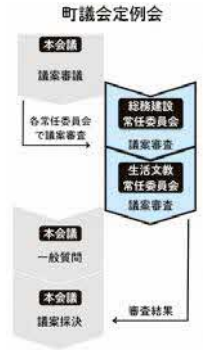


大野アルプスランドキャンプ場



日生中央駐車場

○駅前の町有駐輪場及び駐車場の指定管理者アマンマネジメントサービス株式会社
いずれも7年度から



総務建設

9月11日、委員会を開会し、付託5議案を審査し、議事に報告した。主な質疑は次のとおり。

6年度一般会計補正予算 (第4号)

危険空き家対策について、一軒分の計上だが今後増えていくのでは

A 今回の危険空き家は所有者が不明で、裁判所などとも協議を重ね、今回関係費用を補正する。今後増える可能性はあるが、基本的には特措法に基づき対応していく。

県政が混乱している中、補正予算に影響は

A 9月補正では、年度当初以降の県からの情報などをもとに予算計上しており、現時点では県との連携が滞っているものはない。新年度予算編成では、県補助金や新規事業などの情報収集をしていく。

今後増える可能性のある危険空き家(国交省HPより)



今後増える可能性のある危険空き家(国交省HPより)

5年度水道事業会計決算

原価高の中、今後の収支見直しは。

A 水道料金が高いとの声を受け、平成12年に基金を高料金対策に使えるよう条例改正をした。この時から純損失分を補っているが、今後も収支の改善は必要。

の時から純損失分を補っているが、今後も収支の改善は必要。(その他3議案も審査。委員会では、いずれも全会一致で可決)

生活文教

9月12日、委員会を開会し、付託2議案を審査し、議事に報告した。主な質疑は次のとおり。

6年度一般会計補正予算 (第4号)

小中学校用タブレット端末借上料について、現在のタブレットを継続するのか、今より利便性が改善されるのか。

A 新しいものになり、改善される。今回は県単位の共通仕様書により共同調達すること

で、端末サービスの調達やランニングコスト低減のメリットもある。

部活動の地域移行によりス

フルバスの運行は変わるのか。

A 一部の部活動で地域クラブ活動を実施する

ため、試験的に6時過ぎの便も運行する予定。

国民健康保険条例の一部改正

被保険者証がマイナンバーカードに移行するが、自身の判断でマイナンバーカードを取得していない人や、様々な都合で申請できない人への対応は。

A マイナ保険証は、マイナンバーカードに紐づけが必要であるが、紐づけをしていない場合は、「資格確認書」を改めて交付する。身体が不自由など取得することが難しい人は個別対応を行う。(委員会では、いずれも全会一致で可決)

△ご注意ください！
令和6年12月2日から
現行の保険証は
発行されなくなります
※今回お手元に届いた保険証は令和7年7月31日まで有効です

医療機関等を受診の際は
マイナンバーカード
をご利用ください



被保険者証がマイナンバーカードに移行

町の考えを問う



第423回定例会 一般質問

質問順	質問者氏名	質問事項	掲載頁
1	福井 和夫	○上下水道事業審議に住民参加は ○公立の認定こども園の設置は ○日生中央駅に観光情報を発信する機能の存続は	P6
2	丸山 純	○今後の「道の駅」に関する本町の基本的な考え方を問う	P6
3	山田 京子	○駅前のバリアフリー化を ○超高齢社会となった本町の姿勢は ○業務改革・改善は進んでいるか	P7
4	中井 智子	○本町の「マイナ保険証」の普及と利用促進は ○誰一人取り残さない窓口業務は	P7
5	横山 辰哉	○本町における教育の質の確保は	P8
6	福井 澄栄	○水道水の水質検査は万全か ○学校給食の食材の検査体制は ○公用車の電気自動車の移行は問題ではないか	P8
7	高岡美津子	○役場におけるハラスメント対策は ○今後の小学校運営は	P9
8	井戸 真樹	○放課後児童育成室の指導員研修と環境 ○AI技術活用による行政効率化	P9
9	岩木 慶	○小中学校へのエアコン設置状況と今後 ○介護報酬改定に伴う、訪問介護事業者への影響は	P10
10	阪本ひろ子	○こども誰でも通園制度への取り組み状況は ○地域の居場所づくりの必要性和住民をまきこんだ地域づくりの考えは	P10
11	末松 早苗	○安全安心の取り組み、救急体制を問う ○公共交通、杉生線減便による影響を問う ○町有地の管理は	P11
12	吉尾 豊	○地域共生社会に向けて障がい者など、支援を必要とする人が主体的に生活できる制度について問う ○体育館にエアコンを導入、夏の時期に授業や地域のスポーツ活動が活発にできる環境について問う	P11
13	山下 修	○タブレット端末をフル活用しているのか	P12
14	山下 隆志	○子供の数の減少を見据えた公教育の在り方 ○3歳～5歳の公立幼稚園・公立保育園と民間事業者との関係及び本町の取り組み	P12

※各議員の二次元コードでは、一般質問の動画が視聴できます。

Q 駅前駐車場の段差解消策は

A バリアフリー化と合わせ協議したい



やま だ きょう こ
山田 京子 議員



利用者に即した駅前駐車場の改修を

駅前周辺のバリアフリー化に向け検討されているがどのような内容か。

まちづくり部長 利用者の高齢化もふまえ、歩道付近の段差や勾配が小さく、視覚障がい者も車道と歩道の区別がつきやすい安全性の高い構造への転換と、自転車レーンの設置も検討。9年度から整備工事を行う計画。

駅前ロータリーへの福祉タクシー乗り入れ許可を。

まちづくり部長 公共交通である路線バスの円滑な通行に支障が出る懸念もあり、福祉タクシーは一般ロータリーの利用を

願いたい。駅前バリアフリー化の中で、一般ロータリーの歩道切り下げ箇所の拡大も含め検討する。

駅前駐車場は段差無く出入りするには、唯一切り下げがされている料金ゲート横からのみである。改善が必要では。

企画総務部長 料金ゲートバー横は車両が料金精算のため停車していることが多く、特に車いす利用者にとっては利用しにくい状況。予定されている「駅前線バリアフリー化工事」と合わせ、工事担当課と協議検討したい。

Q 公立幼稚園の認定こども園化は

A ニーズなど様々な視点から調査・研究



ふく い かず お
福井 和夫 議員



市立幼稚園と保育園が統合された認定こども園

共働き世帯が増加している社会背景を踏まえ、公立幼稚園の認定こども園化への考え方は。

教育部長 認定こども園化すれば幼稚園での教育と保育園での保育が一体的に行うことができ、また保護者の就労、退職などに左右されず、子どもが同じ園に通うメリットがあると考えている。こども計画を策定していく中で、入園希望者の推移や保護者のニーズなど様々な視点から調査・研究を行い、子ども・保護者に、より良い教育・保育

猪名川幼稚園区	3歳～5歳 対象人口	幼稚園(1号認定)		保育園(2号認定)	
		認定者数	認定率	認定者数	認定率
341人	50人	139人	40.8%	192人	56.3%
		利用園児数	利用率		
六瀬幼稚園区	120人	53人	44.2%	60人	50%
		利用園児数	利用率		

各幼稚園ともに保育園の認定率が高い

(6年度)

環境を提供できるように考えていく。

計画策定の途中過程で住民の声を反映させることが住民参画の行政運営と考える。住民参加の上下水道事業審議会の設置は。

まちづくり部長 住民の意見を聞いて検討を重ねることの重要性を理解しているので検討していく。

日生中央駅に観光情報を発信する機能の存続は。

企画総務部長 能勢電鉄や日生中央サピエなどと連携を強化する。

Q マイナ保険証の普及と利用促進は

A 利用の仕方やメリットの周知に努める



なか い とも こ
中井 智子 議員

マイナ保険証の円滑な移行に向け、住民への正しい情報発信の取り組みは。

生活部長 6年度の保険証一斉更新時に、マイナ保険証の利用やメリット、新規交付停止、高額医療制度での限度額適用認定証の提示不要などを周知するリーフを同封して案内している。今後は、広報いながわ12月号やイオンモール猪名川に設置の電子看板などを活用し周知する予定。

高齢者など来庁が難しい人へのマイナンバーカード取得支援事業の取り組み状況は。

生活部長 高齢者や外出困難な人には、訪問による申請・交付や代理交付制度を案内し、個々の状況に応じて柔軟に対応している。



カードリーダーでマイナ受付を!

ひとくちメモ

合理的配慮とは障がいの有無にかかわらず、社会的障壁を取り除くための配慮



軟骨の振動を通じて音が聞こえる軟骨伝導イヤホン

合理的配慮の一環として窓口で軟骨伝導イヤホンの導入を。

生活部長 補聴器の種類や機能は利用者の聞こえの状況に応じて異なるため、専門医の意見を参考にしつつ、窓口での需要を見極めて導入の可否を判断する。

Q 今後の新・道の駅計画は「中止」か

A 道の駅移転は「凍結」と表現している



まるやま じゅん
丸山 純 議員

3年6月に突如、前町長が辞任した。7月9日には唯一の入札参加グループが辞退届を提出したと報告を受け、私は大変びっくりした。その後の町長選挙で、「新・道の駅」計画の是非が争点となり、中止を訴えた現町長が当選した。住民の意思、つまり「民意は決した」と私は判断し、現在に至っている。この計画は「凍結」ではなく「中止」と考えていいの。

地域振興部長 現時点で道の駅プロジェクトを「中止」と公式決定するには、農地法上の課題、



「凍結」中の道の駅移転予定地の現状(6年9月)

3年6月に突如、前町長が辞任した。7月9日には唯一の入札参加グループが辞退届を提出したと報告を受け、私は大変びっくりした。その後の町長選挙で、「新・道の駅」計画の是非が争点となり、中止を訴えた現町長が当選した。住民の意思、つまり「民意は決した」と私は判断し、現在に至っている。この計画は「凍結」ではなく「中止」と考えていいの。

地方債の繰上償還、課題解決に向けた関係機関との調整など、課題が多い。現在は農地転用が完了しておらず、地目は農地のままであること、また道の駅の用地購入のために起債した地方債は2年度の3月末に市中銀行から借り入れた4億630万円の一般事業債で、12年末に償還が完了する。「中止」が正式に決定された場合、地方債について一括償還を求められる可能性がある。このような課題がある現状では「凍結」と表現している。

Q 今後の学校運営について町の考え方は

A 小学校の教育環境の整備に努めていく



たかおか みつこ
高岡美津子 議員



一年生になったら友だち100人できるかなあ？

3年度生まれの子どもから急激に出生数が減少している。現在15歳の高校1年生と5歳児の人口を比べ、10年後の減少率を推計したところ42.1ポイント減少となったが、町の対策は。

【教育部長】 10年4月には90人と大幅に減少が見込まれている。子ども医療費無料化など、町独自の少子化対策で移住定住に繋がる取組を進めている。小中学校の適正な規模・配置の検討、小学校の存置、再編の基本方針改定について町の考えは。

【教育部長】 基本方針は純に児童数のみで議論するのでなく、保護者を始め、地域住民や多くの関係者などから意見を聴きながらよりよい教育環境の整備に努めていく。

役場におけるハラスメント対策の内容は。

【企画総務部長】 ハラスメント防止策として毎年、研修の実施、相談などの窓口の設置、適切な対応を行っている。誰もが働きやすい職場環境づくりに努めていく。

Q 本町における教育の質の確保は

A 教師一人ひとりの資質向上に取り組む



よこやま たつや
横山 辰哉 議員

☆相談は無料です
☆秘密は厳守します

◇相談は予約制で、臨床心理士が面談します
※相談日時（火・水・木・金）
9:00～17:00
申込は、電話で
TEL: (072) 765-2065
※受付（月～金 9:00～17:00）

◇電話での相談は所員が対応します
TEL: (072) 765-2065
※相談日時
（月～金 9:00～17:00）
◇教職員の相談は所長が対応します

教育相談のご案内



猪名川町教育支援センター

家庭で抱え込まずに気軽に相談を。

人員確保に大変苦慮している中、どのように質の確保に努めるのか。

【教育部長】 社会的な規範意識・教職員同士のチームワークといった組織的な視点、児童生徒に対する理解力・指導力・授業力といった個々の能力向上を重要と考え、教師一人ひとりの質の向上を目指していく。

また、新任教職員や臨時講師対象には県教育委員会主催・町教育委員会主催の研修に参加させるほか、指導補助・相談を行っている。

不登校児の集計は中学校卒業後集計からカットされ、またフォローするシステムも乏しい。本町において現状の把握、また今後の計画はどうか。

【教育部長】 各会議・協議会を通していじめ対応、不登校児生徒理解・把握に加え、校内サポートルームを設置し、居場所づくりなどに努めている。

また、中学校在学中、教育支援センターに相談を受けた生徒は卒業後も相談が受けられる体制である。卒業後に関して今後も関係部署との連携・情報共有に努め、課題解決に取り組む。

Q 指導員が問題を起こした時の対応は

A 組織として保育体制の改善に取り組む



いど まき
井戸 真樹 議員



「子どもたちが安心して過ごせる育成室を目指して」

留守家庭児童育成室において、指導員が問題を起こした場合の対応は。

【生活部長】 保護者や指導員から情報提供や相談を受け、こども課が聞き取るなど事実関係の把握を行う。不適切対応があったと判断した場合、対象の児童や保護者のケアを行い、再発防止に向けた対策や研修の実施、全体研修による改善策の共有など組織として保育体制の改善に取り組む。

指導員の異動やスキルアップの取り組みは。

【生活部長】 近年、指導員の多くは、児童との信頼

関係の構築や成長を見守ることを大切にしているため、組織の活性化よりも、指導員のやりがい重視した配置を行なっている。

ChatGPTの導入に関する検討状況は。

【企画総務部長】 生成AIの検討は必要と認識しているが、先進自治体と比べ、財政や人的課題がある。町では情報管理担当者、県や事業者が開催する勉強会に参加し、情報収集に努めている。現状として生成AIの導入の具体的な計画はない。

Q 水道水の水質検査は万全か

A 全て目標基準値以下で問題ない



ふくい すみえ
福井 澄栄 議員



県内で農薬ネオニコチノイドが水道水に混入し問題となっているが、検査は行われているか。検査結果のデータ開示を。

【まちづくり部長】 毎年6月と9月に検査している。目標基準値以下で問題ない。検査結果は町ホームページで開示している。

水道水からPFASが検出され問題となっているが、検査しているか。検査結果のデータはあるか。

【まちづくり部長】 6年7月10日検査を実施したが検査結果は問題がなかった。検査結果は町ホームページに掲載している。

学校給食の米のネオニコチノイドの含有量と、パンのポストハーベットの含有量の検査はできているか。

【教育部長】 米は今年からJA兵庫六甲で検査を実施している。パンは他市町の取組事例、また効果などを調査・検討した上で判断したい。

公用車を電気自動車にすることは見直したほうが良いのではないか。

【企画総務部長】 充電設備を整備する必要があるが、市場の動向などを注視しながら導入を検討する。



明石川でPFAS検査中

Ｑ #7119を導入する考えは

Ａ 県で統一実施できるよう検討している



すえまつ さなえ
末松 早苗 議員

私たち住民にとって救急車を要請すべきかどうかの判断は難しい。そのような時に役立つのが#7119である。これは緊急性の高い症状の傷病者にできるだけ早く救急車が到着できるようにすることに加え、住民が適時・適切なタイミングで医療機関を受診できるよう支援するため、消防と医療が連携し救急医療相談と医療機関案内を、短縮ダイヤル（#7119）で行う電話相談である。これを町に導入する考えは。

【消防長】 本町においても5年前と比較し、救急出動件数は約35%増加している。そのため限られた救急車を適正に利用するための取り組みが必要と考える。県内では神戸市・姫路市・芦屋市が実施している。7年度に県で統一実施できるよう検討を進めている。

【生活部長】 2分の1が国の特別交付税で措置される。残り2分の1は県がどのくらい負担するかによって参加する市町の負担額が変わってくるので、現在県全体で調整している。



#7119導入状況
（濃色は導入済み地域 総務省消防庁HPより）



よし お ゆたか
吉尾 豊 議員

Ｑ 支援が必要な人の主体的な生活は

Ａ 法改正により本人の意思で契約になる



支援が必要な人への主体的な制度を

支援を必要とする人の生活を全てカバーできていないのでは。

【生活部長】 地域で担える資源に限りがあり、生活全般をカバーするまでには至っていない。

【生活部長】 ライフスタイルに合わせて障がいがある方と介助者との直接契約を結び、自らマネジメントしていく制度。ハードルは担い手不足・責任の所在の担保・事業者運営の影響。



体育施設に空調設備を

【生活部長】 必要性的には理解しているが、厳しい財政状況のため優先順位を検討した上で設置時期を見定めていきたい。

【生活部長】 必要性については理解しているが、厳しい財政状況のため優先順位を検討した上で設置時期を見定めていきたい。

【生活部長】 必要性については理解しているが、厳しい財政状況のため優先順位を検討した上で設置時期を見定めていきたい。

【生活部長】 必要性については理解しているが、厳しい財政状況のため優先順位を検討した上で設置時期を見定めていきたい。

【生活部長】 必要性については理解しているが、厳しい財政状況のため優先順位を検討した上で設置時期を見定めていきたい。

Q 新しいタブレットで状況は変わるのか

A 不具合は改善されると期待している



やました おさむ
山下 修 議員



学校配備のタブレットは毎年5千万円以上の費用がかかっている。予算を使うのなら、フル活用すべきと思うが、現時点でハード面の不具合は解消しているのか。

【教育部長】サーバー環境の改善を試みたが大きな改善は見られず、タブレット端末に焦点を当てて調査したところ、CPUの使用率が非常に高く、ソフトの一部見直しで一定の改善があった。

以前は5年後にリース延長とのことだったが、今回の債務負担補正によりタブレットを買い替える



7年7月にタブレット端末は更新される

と承知した。新しいものになれば状況は変わるのか。

【教育部長】県内の共同調達となり、新端末の調達準備を進めている。これを機に、ハード面の不具合が大きく改善されると期待しており、多様な活用に組み込みたい。

5年で2億4千万円以上の費用となる。本気で取り組んでもらえるのか、町長の思いは。

Q 公立の認定こども園の創設は

A 住民ニーズを調査分析し、検討する

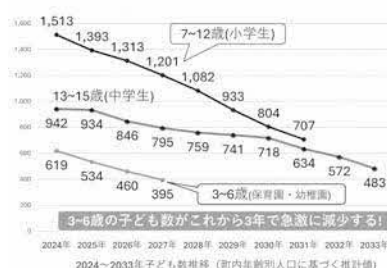
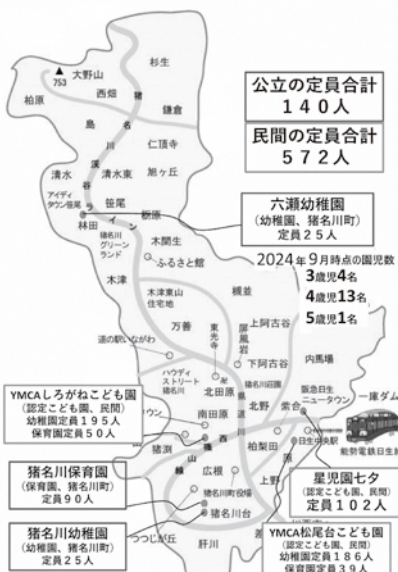


やました たかし
山下 隆志 議員



公立幼稚園・保育園の認定こども園への移行の考えはあるか。

【教育部長】認定こども園に移行することで、幼稚園での教育と保育園での保育を一体的に行うことができ、また、保護者の就労、退職などに左右されず、子どもが同じ園に通えることがメリットである。アンケートの実施などにより住民ニーズを調査分析し、将来的な公立幼稚園・保育園の在り方として認定こども園に対するニーズの把握を行い、今後の公立幼稚園・保育園の在り方の判断材料としていく。



六瀬幼稚園の5歳児1名・3歳児4名は明らかに少ないが、町長はこの認識があったか。あったなら今後どのようにすべきと考えているか。

【町長】子どもの減少状況は把握していて、すでに課題整理し、教育長とも連携しながら調査するように各部門に指示している。

正副委員長 研修会に参加

7月16日、あすてつぷ K O B E（神戸市）で県町議会議長会主催の「正副委員長研修会」が開催され、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の各正副委員長と正副議長が出席した。

株式会社廣瀬行政研究所の廣瀬和彦氏から、「正副委員長のための議会運営」をテーマに、議員定数や本会議・委員会での質疑方法などについて研修を受けた。



議会広報 研究会に参加



8月7日、あすてつぷ K O B E（神戸市）で県町議会議長会主催の「議会広報研究会」に、議会広報特別委員会委員7人と議長が参加した。越地真一郎氏による講演の後、広報紙「議会だより」第192号（6年8月1日発行）のフリーニツク指導を受けた。読者に伝わるのが重要であり、分かりやすい議会広報紙に向け指導を受けた。

本議会を録画配信でご覧ください！（画面はスマホのもの）



議会だよりを「マチイロ」で配信しています

町議会では、議会だよりをより手軽で簡単に閲覧いただけるよう、スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で議会だよりを配信しています。ぜひご利用ください。

（アプリのダウンロードは無料で行えますが、通信費は利用者の負担となります）

ダウンロードは右の二次元コードからできます。



iOS



Android

まちの声

むこう3軒りようどなり



猪名川町防災士の会

会長 井上 幸和



Facebookはコチラ

防災士は地域の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。「猪名川町防災士の会」は、町内の防災士を中核とするグループですが、防災士を目指す人、災害発生時に必要な知識・技能を持つ人等、幅広く参加できるボランティア団体です。

町には日頃から支援を必要とする身体障害・知的障害・精神障害等の障害者、支援・介護を必要とする高齢者も多く、なくなる人を一人でも少なくするため、救済・避難・生活支援等「向こう3軒りようどなり」の助け愛が必要です。住民の皆が防災に対する意識を高め、日頃から互いに助け合う住んで良かったと言える猪名川町を目指します。

自分の安全は自分で守るのが防災の基本です。命を失ったり、大怪我をしてしまったりと大事な家族や隣人を助ける活動ができません。自分の身を守るために日頃から身の周りの備えを行い、防災・減災に努める必要があります。



防災士メンバー募集中!



モルック大会優勝!

まちかどワンショット



力を合わせてがんばりました! (星児園七タ)



旅のとちゅう、願いよ届け!

みなさんも 傍聴しませんか

傍聴の手続きは簡単です。当日、本庁舎3階議会事務局で受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。
(議場 20人、委員会室 10人まで)



12月定例会

〈本会議の日程〉

- 第1日 12月5日(木)
- 第2日 12月12日(木)
- 第3日 12月13日(金)
- 第4日 12月17日(火)

〈常任委員会の日程〉

- 総務建設常任委員会 12月6日(金)
- 生活文教常任委員会 12月9日(月)

※いずれも午前10時から。
※議事の都合などにより、日程など変更することがあります。

会議録の閲覧

本会議・委員会の会議録は、議会事務局・図書館・日生連絡所・六瀬総合センターで閲覧できます。また、ホームページからも本会議、各常任委員会の会議録をご覧になれます。

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



この広報紙は12,000部作成し、一部あたりの単価は33.22円です。

猪名川町議会

検索

猪名川町議会のホームページもご覧ください。

編集 議会広報特別委員会

山下 修 岩木 慶 末松早苗 中井智子
山下隆志 横山辰哉 吉尾 豊
〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑 11-1
TEL072-766-8710 FAX072-766-8882